

付表

日本の都市景観の変遷をたどる

	江戸時代	明治時代	大正～昭和初期	戦後（昭和 30 年代）	現在
東京	 日本橋駿河町 (資料)安藤広重名所江戸百景より	 丸の内一丁ロンドン。右の建物は三菱一号館（現在復元計画あり） (資料)有隣堂 HP「石黒コレクション」より	 戦前の丸の内。中央が帝国劇場。震災により煉瓦街の面影はないが西欧風の建物がお堀端に並ぶ (資料)ごちゃまぜ歴史写真 HP より	 戦後の銀座。中央左手の建物は銀座和光。周辺には装飾性の乏しいビルとバラックが混在。 (資料)ドコモ電子写真館より	 現在の丸の内、丸ビル前。低層階にブランド店、飲食店の入居するオフィスビルが次々に完成。土日でも多くの人でにぎわう
名古屋・広小路	 江戸時代の広小路（本町通との交差点） (資料)映像で綴る名古屋の 400 年より（イメージ図、映像塾）	 明治 30 年代の広小路 (資料)映像で綴る名古屋の 400 年より（映像塾）	 昭和 2 年の栄町交差点（西側）。右のレンガ造りの建物は日本生命名古屋支店。旧いというデパートメント (資料) 映像で綴る名古屋 400 年より（映像塾）	 昭和 30 年の栄町交差点。いち早く着手された戦後復興計画により着々と復興が進んだ (資料) 中日新聞社	 現在の栄交差点
名古屋・本町通	 江戸時代の本町通。城下を南北に貫くメインストリートとして栄えた (資料)尾張名陽図会		 天皇家の行幸を記念して拡張新装工事が行われ、電線も地中化。名前も御幸本町通と改められた。 (資料)映像で綴る名古屋の 400 年より（映像塾）		 現在の本町通。左の写真とほぼ同じアングル。かつての繁華街の面影はない

明治維新以降の脱亜入欧による景観の断絶（西欧の影響大）

第二次大戦敗戦による景観の断絶（アメリカの影響大）